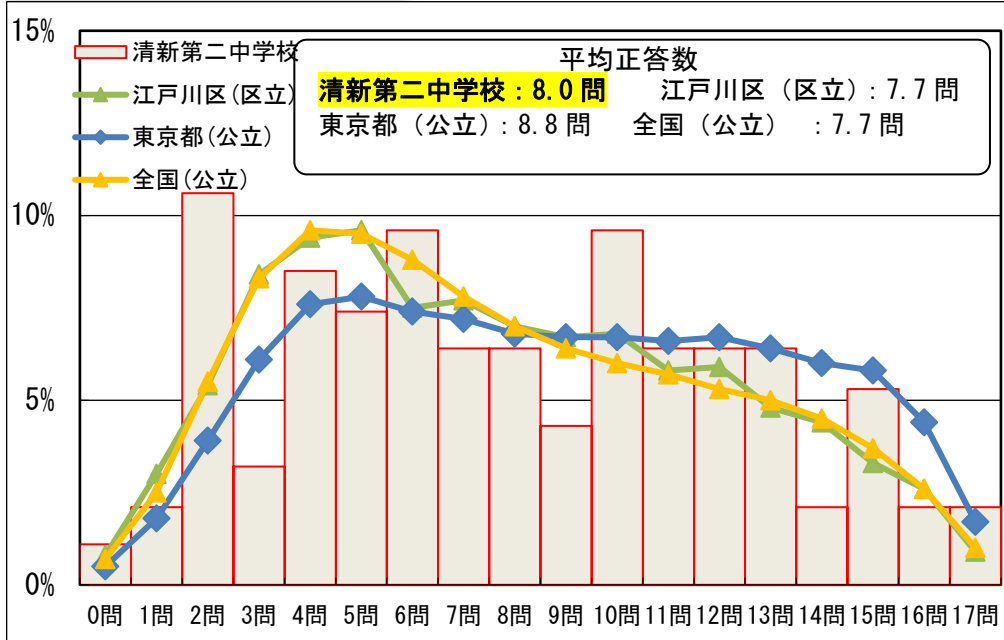


令和5年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【英語】 清新第二中学校

正答数分布

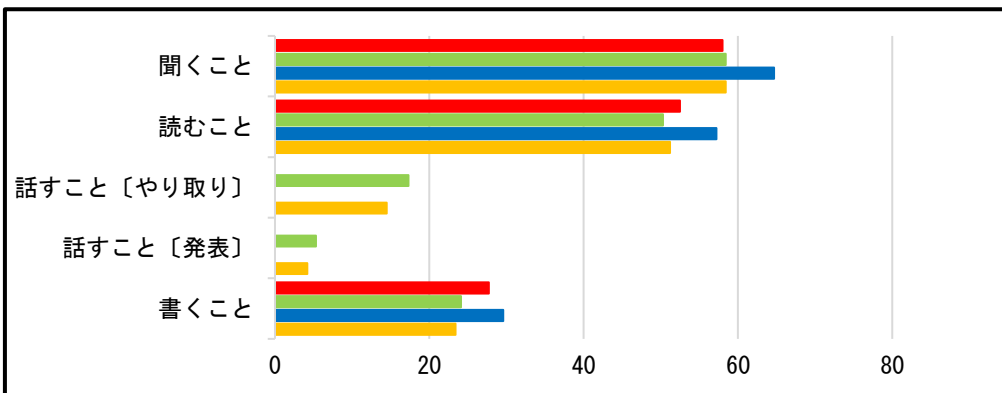
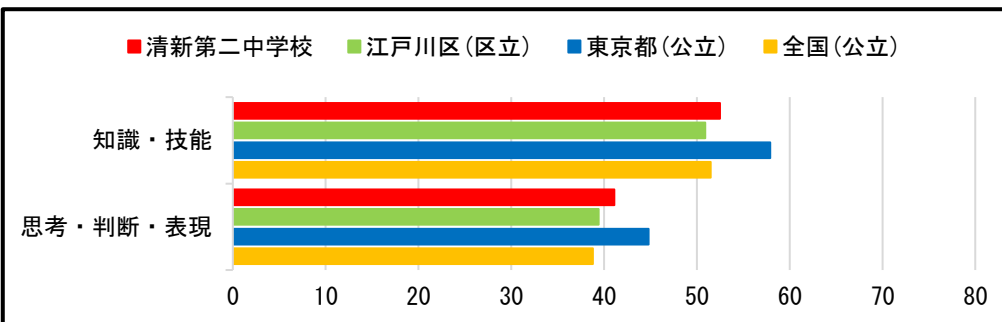


<四分位における割合(都全体の四分位による)>

英語	上位 ← → 下位			
	A層 12～17問	B層 9～11問	C層 5～8問	D層 0～4問
清新第二中学校	24.4	20.3	29.8	25.5
江戸川区(区立)	21.9	19.3	31.8	27.0
東京都(公立)	31.0	20.0	29.2	19.8
全国(公立)	22.1	18.1	33.1	26.7

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、生徒数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって生徒をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の生徒の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

「領域別」の結果



【平均正答率の差】

清新第二中学校	47%
江戸川区(区立)	45%
東京都(公立)	52%
全国(公立)	45.6%
都との差	+1.4%

【分析結果と授業改善に向けて】

全国平均を上回っているが、東京都と比較するとすべての項目で下回っている。また、C・D層の合計が55.3%と半数を超えている。以上のことから、まずはC・D層を半数以下にすることを目標とする。そのために、生徒同士の学びあい活動や協同学習、グループ学習等を充実させ、生徒の自主性を高める授業改善を行う。